

海峰

氷見市立海峰小学校 学校だよりNo.2

令和5年5月9日 発行



学校長 西 裕之

「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う子供の育成～協働的な学びを目指して～」

- A「ぼくはピーマンの苗を植えます。ピーマンは緑色だけど、時間が経つと黄色や赤色になります。色が変わるとだんだん甘くなります」
- B「ピーマンは色が変わるのですか。黄色や赤色はパプリカでないのですか」
- A「この本に色が変わるって書いてあるよ」
- B「え、ピーマンの色が変わったらパプリカになるの？」
- C「ピーマンの色が変わるのは見たことがある。前に育てた時に色が変わったよ」
- B「でも、パプリカとは違うと思うけど…どういことかな」

先日、2年生の生活科の授業を参観した時、このような3人グループの対話を聞きました。自分の植えたい野菜について各自が発表したことがきっかけとなり、グループの児童が疑問を投げかけたり、自分の経験を話したりしていました。A児は根拠となる資料を提示するのですが、そこに書かれている文の解釈が難しかったようです。結局ははっきりした正解には至らず、疑問が残ったまま育てることになりました。

児童の疑問に対して教師が正解を伝え、知識を獲得していくことは学びです。しかし、それは学び合いとは言えません。児童が知識を獲得していく過程において、体験を通して学んだり、友達同士で話し合ったりすることが主体的な学びにつながり、その学びが深ければ深いほど課題解決能力が養われると考えます。

また、学び合いは「共通の目標や課題をもつこと」から始まります。この生活科の授業の場合、「2年生のみんなで野菜を育てよう」という共通の目標があります。苗を準備し、個々が畑に植え、収穫するのであれば、それは個の学びに過ぎません。協働的に学ぶためには、「同じ目的で、互いの思いや願いを共有しながら育てる」ことが大切なのです。

今年度の重点目標「協働的な学びを目指して」を全教職員が意識して取り組み、子供たちに学ぶ楽しさを伝えていきたいと思います。



—おうちの方にも協力していただいた苗植え—

☆☆今月の行事予定・ふるさと学習☆☆

海峰小学校はふるさと学習を推進していきます。早速、各学年が取組を始めています。

- 5月11日(木) マコモタケ苗植え体験(3年生) *栗さんと苗を植えます。
- 14日(日) 資源回収・奉仕活動
- 20日(土) 運動会 *22日(月)は振替休業日
- 24日(水) 氷見市連合体育大会(5、6年生)
- 下旬 田植え体験(5年生) *大澤さんと北八代の水田に苗を植えます。
- 八代地区散策(4年生) *森杉さんと八代地区を散策します。